

# 北海道におけるアトピー性疾患に関する疫学調査

出典	小児保健研究(0037-4113)63巻4号 Page412-420(2004.07) ( <a href="http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004299119">http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004299119</a> )
著者	大見広規 他
調査地域	北海道
調査時期	2002年
調査対象	3歳
依頼数	7736人
有効回答率	86.2%
診断方法	自己申告(既往)
有症率	6.6%
調査概要	北海道における3歳児検診を受診した児を対象にアレルギー疾患を調査した論文。食物アレルギー発症に関して、居住地が群部、出生順が第2子以降、授乳法が人工乳、室内犬の飼育、同居者の非喫煙が優位な関連因子であった。